◇　◇　第二種研究会開催案内　◇　◇

●アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ（第 61 回）
「基礎から理解する小形アンテナの動作原理」

実行委員長　森下　久（防衛大）

アンテナ・伝播研究専門委員会では，関連する研究専門委員会と連携して，1994 年度から第二種研究会として「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を開催して参りました．これは，アンテナ・伝搬研究者や技術者を主たる対象に，設計・解析力の向上を図ることを目的とするもので，これまでにモーメント法及び FDTD 法によるアンテナ解析，アレーアンテナの適応信号処理及び高分解能到来波推定法，移動通信における多重波伝搬理論，アンテナ測定法，人体ファントムとアンテナ評価技術，アレーアンテナ設計の基礎，無線タグ用アンテナ設計，メタマテリアルの基礎などをテーマに，これまで 60 回のワークショップを企画し好評を頂いております．

今回の第 61 回ワークショップでは，「基礎から理解する小形アンテナの動作原理」をテーマとして開催します．小形アンテナの動作原理を理解することをねらいに，小形・平面アンテナの基礎理論を整理し，広帯域化，マルチバンド化の理論と設計について説明します．小形アンテナの Q 値と利得及び放射効率との関係，アンテナサイズと Q 値との関係について取扱い，逆 L アンテナやマイクロストリップアンテナなどの代表的な小形・平面アンテナの特性と Q 値について説明します．直列及び並列共振型の小形アンテナの広帯域化とマルチバンド化について述べ，その設計法について解説します．

講師　野口啓介（金沢工大）

講義内容

1. 放射の基礎
2. アンテナ特性と Q 値
3. 代表的な小形アンテナと Q 値
4. 広帯域化とマルチバンド化

上記の講習内容は，若干変更することもございますので御了承下さい．なお，テキストは受講者に約 3 週間前に配布され，予習して頂くことを前提としています．

日時　2018 年 9 月 10 日（月）　9：30〜17：00

会場　金沢商工会議所（金沢市尾山町 9-13）

受講定員　70 名

受講料（テキスト代金を含む）

一般／会員　15,000 円，非会員　25,000 円
学生／会員　 5,000 円，非会員　10,000 円

申し込み受付け後，事務局から受講受付番号と受講料振り込み案内をお送りしますので，それに従って受講料をお支払い下さい．会員価格での受講を希望される方は，受講申込書に会員番号の記載が必要になりますので，御注意下さい．学会への入会手続き中の方は，学会へ提出した入会申込書のコピー等，入会を確認できる資料の提出をお願いします．会員／非会員の受講料の差額は，一般の方については電子情報通信学会年会費のほぼ 3/4，学生の方については年会費を上まわっております．非会員の方には，この機会に，電子情報通信学会への入会をお勧め致します．入会に関する情報は下記の URL を御参照下さい．

電子情報通信学会入会案内
http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html

受講申込期間　7 月 2 日（月）〜8 月 10 日（金）
（先着順：満員になり次第締め切ります．期日前の申し込みは無効です．）

【受講申込方法】　下記 URL からお申し込み下さい．なお受講申込後 1 週間以内に事務局からの回答がない場合には，総務担当幹事へ申込受付確認の連絡をお願い致します．

http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/

【問合先】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ第 61 回実行委員会
総務担当幹事　西山英輔（佐賀大）
E-mail：ap_ac-ws61secretary@mail.ieice.org

主催　アンテナ・伝播研究専門委員会
協賛　IEEE AP-S Tokyo Chapter

●第 31 回情報伝送と信号処理ワークショップ

実行委員長　牟田　修（九大）
テーマ 「進化する ICT と地域創生」
期日　2018 年 10 月 31 日（水）～11 月 2 日（金）
会場　松山市立子規記念博物館（略称：子規記念館）（松山市道後公園 1-30　http://sikihaku.lesp.co.jp/site_info/access.php　http://sikihaku.lesp.co.jp/site_info/access.php　TEL〔089〕931-5566）

今回で 31 回目を迎える情報伝送と信号処理ワークショップ（CSWS）は愛媛県松山市にて開催致します．四国での開催は第 11 回の徳島に続き 2 回目となります．今回のワークショップは進化する情報通信技術（ICT）と地域創生をテーマとして企画致しました．地元の専門家として愛媛大学から講師をお招きし，地域における ICT・Internet-of-Things（IoT）関連の取り組みについて御講演頂きます．また，IoT，ブロックチェーン・仮想通貨技術，コネクテッドカー，スポーツ分野への応用等の多様な ICT 関連の技術分野における第一線の専門家をお招きし，最新の技術動向について御講演頂きます．更に，通信方式研究会の現委員長である中里秀則先生のフェロー記念講演も予定しております．道後温泉で知られる松山市道後の会場において，地元の専門家の方を交えて活発な御議論を頂けましたら幸甚です．併催の通信方式研究会とともに，多数の皆様の御参加をお待ちしております．

以下のセッションを計画しています．なお，スケジュール等は変更になる場合があります．
最新情報は学会ホームページ（http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/csws/）にて御確認下さい．

31 日（13：00～16：40）
オープニング　牟田　修（九大）
第 1 セッション
1.〔招待講演〕 愛媛大学の IoT 関連の取り組み　　都築伸二（愛媛大）
2.〔招待講演〕 ICT 利活用による地域イノベーション　　坂本世津夫（愛媛大）
3.〔招待講演〕 ブロックチェーンと仮想通貨技術の基本　　山﨑重一郎（近畿大）
4.〔招待講演〕 セカンドレイヤを中心とするブロックチェーンの拡張と技術動向　　安土茂亨（ハウ）
◎夕食・懇親会（19：00～21：00）
1 日（9：00～12：00）CS 研究会　第一部
第 2 セッション（13：00～16：40）
1.〔招待講演〕 コネクテッドカーにおける情報通信技術の現状と今後　　佐藤健哉（同志社大）
2.〔招待講演〕 Sensing wear「hitoe」と ICT による，医療・スポーツ・安全分野の生体モニタリング―生体計測・信号処理の難しさ・Open Innovation の苦労話―　　塚田信吾（NTT）
3.〔招待講演〕 IoT／ビッグデータ／AI 活用によるビジネス革新とネットワークへの期待　　稲田修一（TTC）
4.〔招待講演〕 建設生産プロセスを変革するオープン IoT プラットフォームの取り組み　　木村宇伯（ランドログ）
5.〔フェロー講演〕 電話からインネットワークプロセシングまでの紆余曲折　　中里秀則（早大）
◎夕食（19：00～）
◎講師を囲んで（20：30～）
2 日（9：00～12：00）CS 研究会　第二部

【参加申込】　＊参加費，宿泊費につきましては，振込のみのお支払いとなります．
参加申込締切　9 月 28 日（金）
参加費（予稿集込）：学会員 40,000 円，非会員 45,000 円，学生 30,000 円，招待講演者 37,000 円
宿泊費：20,000 円（2 泊／全参加者共通），追加予稿集：4,000 円

【参加申込手続】
学会ホームページ（http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/csws/）の CS ワークショップ参加申し込みフォームにてお申し込み下さい．宿泊，及び航空券手配につきましても CSWS パックを御用意しておりますので，同フォームよりお申し込み下さい．会場案内等の詳細は上記学会ホームページを御覧下さい．
・参加費の銀行振込先は下記の通りです．
振込先：みずほ銀行（銀行コード：0001）　横須賀支店（店番号：390）口座番号：2054773
CSWS 実行委員会（シーエスダブルエスジツコウイインカイ）
なお，振込通知（金額内訳を明記）を下記まで E-mail，FAX 等で行って下さい．
会計幹事　原　一貴
E-mail：hara.kazutaka@lab.ntt.co.jp　FAX〔0422〕59-5651

【問合先】
松永統行　E-mail：m-matsunaga@bx.jp.nec.com
主催　通信方式研究専門委員会，情報伝送と信号処理ワークショップ実行委員会